

「EP通信」とは…

信州大学イコール・パートナーシップ委員会では、委員会の活動報告を「EP通信」として作成し、教職員の皆さまに配布してまいりました。今回は、令和5年度から令和6年度までの活動報告として「EP通信VOL.12」をお届けします。

Equal partnership

巻頭言

令和6年度イコール・パートナーシップ委員会委員長

中込 さと子 (保健学系教授)



イコール・パートナーシップ（EP）委員会は、平成 11（1999）年の男女共同参画社会基本法の制定を受けて、平成 13（2001）年に設置されました。その後、「信州大学におけるハラスメントの防止等に関する規程」の施行（平成 16（2005）年）

に伴って、あらゆるハラスメントの防止のための活動に代わり、今年で 25 年目を迎えました。

四半世紀の EP 通信の委員長の所感（巻頭言）から、本学のハラスメント相談の変遷を読み取ることができます。例を挙げると、ハラスメントを防止するためには、行為者のハラスメント行為を問題にするだけでは本質的な解決にならない、必要なのは風通しのよい信頼関係を醸成する風土である、誰もが行為者にも被害者にもなりうることを自覚する、「傷ついているならもっと早く言ってほしい」ではなく、「傷つけているかもしれないことに早く気づこう、対処しよう」、他者の立場を慮ってほしい等です。

改めて今年の相談内容を振り返りますと、相談のタイミングは、「これはハラスメントではないか」と気づいてから比較的早

い時期でした。また「自分だけでなく、他の人にも生じるのではないか」と考えての申出が多かったように思います。これは各部署のハラスメント相談員の適切な対応や、ハラスメント防止の啓発の成果だと考えます。

また行為者とされた方にお話を伺うと、「不快な思いにさせ、傷つけてしまったとしたら本意ではない。申し訳ない。」とおっしゃり、また研究室や組織の責任者の皆様からは「対応しなければなりませんね。」というお言葉をいただきました。確実に、ハラスメントへの対応は処罰ではなく未然の防止、個人の問題とせず組織全体で改善しようという意識が定着しつつある証だと思います。

新たな課題としては、適切なソーシャルメディアの利用、留学生の増加に伴う多文化共生、SOGI やアンコンシャスバイアス、ダイバーシティ推進に関する理解の促進が挙げられます。またハラスメント防止という点から、心身の健康上の相談やプライベートサポートはしかるべき支援部門に相談し、一人で抱え込まないでほしいと思います。さらに学位授与や科目単位認定の基準についても、学生の意見も聞きながら、柔軟かつ建設的に話し合い、より良い研究教育環境を創り上げていきましょう。

Equal partnership

令和5年度～令和6年度のトピック

「ハラスメントの防止等に関する規程」を改正 ハラスメント防止規程に性暴力等の定義を追加

令和4年11月に、文部科学省より、セクシュアルハラスメントを含む性暴力等の防止に向けた取組の推進を各大学において実施するよう通知があり、性暴力等に対する方針の明確化や、学内規則等への規定、相談体制の充実、性暴力等の事実があるときの措置などを決定することが求められました。

本学では、令和5年4月1日付けでハラスメントの防止等に関する規程に性暴力等の定義を追加する改正を行い、相談窓口についても明記しました。ハラスメント防止規程に明記することにより、教職員に意識付けを行い、性暴力等防止の取組をより一層推進してまいります。

Equal partnership

活動概要（令和5年度～令和6年度）

委員会活動	第73回EP委員会～ 第76回EP委員会	委員長・副委員長の選出、予算関係、ハラスメント防止研修会の計画、ハラスメント防止・対応ガイド等の広報についての意見交換、研修の実施状況やハラスメント案件について報告しました。
研修会活動	ハラスメント相談員研修会 (年1回開催)	主にハラスメント相談員を対象に、ハラスメント相談員の職務や相談対応にあたる際の留意点等に関する研修会を実施しました。

研修会活動

ハラスメント防止研修会 (基本、部局毎に年1回開催)

【弁護士による研修会】

長野県弁護士会にご協力いただき、教職員を対象に、人権擁護委員の弁護士にご講演いただきました。

■ご講演いただいた弁護士の先生方

令和5年度

9月11日(月)	宗村 和広 先生	11月 1日(水)	塚田 雅彦 先生
9月22日(金)	山崎 憲司 先生	11月 7日(火)	李 栄愛 先生
10月11日(水)	原 史織 先生	11月 9日(木)	河辺 悠介 先生
10月11日(水)	石井 誠実 先生	11月20日(月)	北川 祥子 先生
10月24日(火)	三浦 美佳子先生	1月10日(水)	宮下 将吾 先生
10月26日(木)	中嶋 実香 先生	1月26日(金)	土屋 学 先生

令和6年度

9月24日(火)	青木 寛文 先生	10月24日(木)	塚田 雅彦 先生
9月30日(月)	岩下 弘毅 先生	11月 6日(水)	柳澤 千春 先生
10月 1日(火)	青木 寛文 先生	11月 6日(水)	澤田 若菜 先生
10月 9日(水)	青木 寛文 先生	11月 7日(木)	富沢 大樹 先生
10月 9日(水)	山崎 憲司 先生	11月11日(月)	唐澤 洋祐 先生
10月22日(火)	栗原 岳史 先生	11月20日(水)	石井 誠実 先生

その他、令和5年11月2日(木)～令和6年1月31日(水)及び令和7年1月7日(火)～2月28日(金)にe-learningにて、主に事務職員・技術職員を対象に、本学特任教授で弁護士の松井博昭先生にご講演いただきました。

新任教職員研修 (年1回開催)

新任教職員を対象に、e-learningにて、ハラスメント防止研修を実施しました。

啓発活動

【学生】

ハラスメント防止リーフレットを学部及び大学院の新入生に配布するとともに、新入生ゼミナールにおいて、eALPS上でハラスメント防止の説明を行いました。

また、eALPSに学生向けのハラスメント防止コンテンツ(本学特任教授で弁護士の松井博昭先生の講義動画)を公開し、そのコンテンツにアクセスできるリンクをハラスメント防止リーフレットに掲載しました。

【学生向けハラスメント防止コンテンツ(eALPS)】※以下のURLまたは右のQR
<https://lms.ealps.shinshu-u.ac.jp/common/course/view.php?id=46>



【教職員】

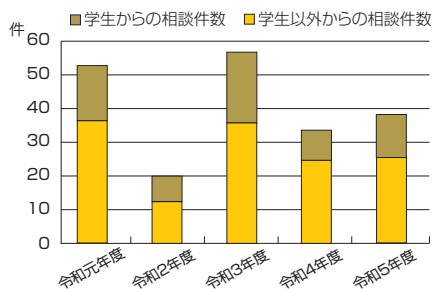
ハラスメント防止・対応ガイドを配布しました。また、EP通信を発行しました。



ハラスメント相談件数

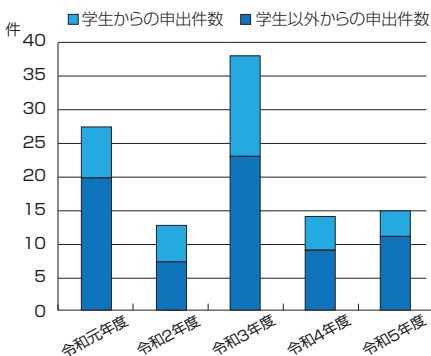
Equal partnership

■ハラスメント相談員への相談受理件数



ハラスメント相談員から提出された「ハラスメント相談員活動報告書」の報告件数を集計した相談受理件数です。ハラスメント相談員は、学長より委嘱された教職員(63名、令和7年1月現在)が各キャンパスで活動しています。ハラスメント相談員一覧は、ポータルサイトACSUの「掲示」ブロックに掲載されています。

■ハラスメント相談の申出書 受理件数



ハラスメント相談の申出があった際は、「行為者への申入れ」、「ハラスメント相談調査対策委員会の設置」等で適切に対応します。

イコール・パートナーシップ委員会委員

Equal partnership

■教員委員

中込さと子	保健学系教授・令和6年度委員長	任期令和8年3月31日
赤川 理	社会学系教授・令和6年度副委員長	令和8年3月31日
KAWAMOTO PAULINE NAOMI		
	工学系教授・令和6年度副委員長	令和7年3月31日
渡邊 真志	繊維学系教授	令和7年3月31日

■教員以外委員

高橋 亮吉	農学部副事務長	任期令和8年3月31日
窪田 順子	財務部副課長	令和8年3月31日
岩井 雅史	附属図書館副事務長	令和7年3月31日
中川由喜子	学務部主査	令和7年3月31日



発行者：信州大学イコール・パートナーシップ委員会 epiinkai@shinshu-u.ac.jp
お問い合わせ先：人事課人材育成・サービスグループ 〒390-8621松本市旭3-1-1 0263-35-4600 (代表)

信州大学 EP通信 VOL.12 2025.2

